

音の博物館

取り組みの概要

帯広百年記念館では、ボランティアの方々の企画・運営のもと、百年記念館や福祉施設等において「昼休み・音の博物館」を開催しています。これは当館で所蔵しているレコードを利用したレコードコンサートで、レコードはおもにSPレコードを使用しています。

協働の きっかけ

当館で所蔵されているレコードは約2万枚ほどあり、ボランティアが整理作業を行っています。この成果を発表する活動をボランティアとともに考えた中で生まれました。レコードコンサートを実施することで、博物館のボランティアの活動を紹介し、レコード資料を公開するとともに、そのレコードが流行った世相などを学ぶきっかけになればと決められました。

帯広百年記念館

・所蔵のレコードを有効活用できる

・博物館機能のPR活動



音の博物館ボランティア

強み

役割

・コンサート企画・立案・構成

協働の 成果

博物館のボランティアの活動を紹介する事業として定着しています。また、この事業が発展し、現在、高齢者の福祉施設に出向いてのレコードコンサートをおこなっています。

協働のポイント

博物館ボランティアの活動を多くの方に知ってもらうため、事業のPRを行っていく必要があります。

